

院長からのメッセージ

社会保険中央総合病院の理念

患者さまの良質で安全な医療の求めに対し、「技」と「心」で応え、すべてのひとが納得する医療を提供します。

病院長 万代 恭嗣



万代新院長

本年4月に院長に就任いたしました。よろしくお願い申し上げます。また日頃より当院を受診いただき、まことにありがとうございます。

さて今回のつつじ通信では、当院が掲げます

病院の理念や、これに対する私の思い入れについて述べさせていただくことといたします。

当院に脈々と流れる医療に対する心意気は、60周年を迎えました今日でも連綿として続いております。その「こころ」を、院長交代を契機にできるだけ平易な言葉で表現することとし、当院の理念を上記のように決めさせていただきました。

基本方針と行動目標を定めています

良質で安全な医療を目指す気持ちは、医療にかかわる人であれば、表現の違いはあっても、誰でも思うことなのでしょう。しかし、それを実際に行動に移そうとすると、困難を伴うことは否めません。言うは易く行うは難し、のとおりです。

そこで当院では良質な医療を提供するために、いくつかの具体的な方策を設定するよういたしました。ひとつは、各診療科の部長を中心として定めた診療科の基本方針です。各診療科がどのような診療を提供しようとしているのか、患者さまの良質な医療の求めにどのようにして応えようとしているのかが、各診療科の特色を生かして定められています。基本方針に続く行動目標には、より具体的な診療内容が述べられ

ています。全科の基本方針が出揃った近い将来には、皆様へご案内するとともに、ホームページへの掲載も考えております。

診療ガイドラインに沿った標準治療を提供しています

2つ目は、診療ガイドラインの利用です。現在では多くの領域でガイドラインが設定され、しかも医療者向けと、それを分かりやすく解説した一般向けの2本立てガイドラインも多く存在します。当院でもガイドラインを使用した診療が行われており、標準的な治療の提供を心がけています。ただ、ヒトは一人ひとりの顔が違うように、同じ病気であっても画一的に同じ治療法を適用すればよいというものではありません。ガイドラインを上手に利用しながら、患者さまに合わせた治療法を工夫し、これに関係するすべての人が納得できるような医療の提供を目指しております。

医療安全推進室を立ち上げました

最後は安全な医療の実施です。本年の4月より医療安全推進室を立ち上げて専任の職員を配置し、情報を収集、アクシデントへの即応体制を整えました。これまで以上に安全な医療をおこなってゆく心づもりでおります。医療安全推進室については、今後このつつじ通信でも具体的活動をご案内してゆきます。

これまでのつつじ通信とはやや異なり、病院の診療方針についての内容となりました。具体性に欠けるとは思いましたが、病院の理念は診療を行ってゆく上での行動指針となるものであり、私どもの信条をお伝えしたいと考えたからです。

今後とも社会保険中央総合病院をよろしくお願い申し上げます。